

# 理論と実践の往還を目指して — 創設2年間の歩み —

2017年4月に西日本の私立大学として初めて単独で教職大学院を創設し、今年度3月に最初の修了者を教育界に送り出します。本研究科では、立命館の「自由と清新」の建学精神と「平和と民主主義」の教学理念を体現し、「地球市民として活躍できる人間の育成」(立命館憲章)を目指して、院生・教員・職員一体となった研究科づくりに取り組んできました。これからのさらなる飛躍のために、2年間の実践と学びを振り返り、成果と課題を共有すべく、このたび「教育実践探究フォーラム」を開催します。

学校教職員、教育委員会関係者や研究者の皆さま、本学内外の教師を目指す皆さまのご参加をお待ちしております。



2019 **2/24** SUN

参加費  
無料

13:00-17:00 (受付 12:30-)

キャンパスプラザ京都 第1講義室(5階)



## フォーラム

### 第1部 教育実践探究報告 13:00~14:05

教学まとめ  
FDまとめ  
院生の2年間の成果報告

### 第2部 講演会 14:15~16:55

演題 「子どもたちに寄り添い、支える  
—生活指導の理論と実践の往還をもとに—」

講師 **山岡 雅博** 立命館大学大学院教職研究科教授

演題 「教育現場に立脚した臨床教育学の展開—教職大学院と  
教育現場から理論と実践の往還・融合を考える—」

講師 **春日井 敏之** 立命館大学大学院教職研究科教授

※情報交換会 17:30~19:30

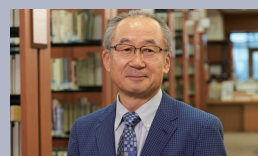
会場:「Cafe & Restaurant Bar Gin-yuba」  
京都駅前店(アバホテル地下)

主催/立命館大学大学院教職研究科(教職大学院)

[連携教育委員会]京都府教育委員会/京都市教育委員会/滋賀県教育委員会/大阪府教育委員会

【お問合せ先】立命館大学朱雀独立研究科事務室

電話番号:075-813-8269 メールアドレス:kyoken-s@st.ritsume.ac.jp



**山岡 雅博** (やまおか まさひろ)

立命館大学大学院教職研究科教授。東京都の公立中学校に33年間勤務。その当時より不登校やいじめなどをテーマに研究。2010年度に立命館大学教職教育推進機構に着任。2013年度から2年間、教職教育総合センター長。2017年度より立命館大学大学院教職研究科教授。日本生活指導学会、日本臨床教育学会等の会員。日本生活教育連盟副委員長、同機関誌『生活教育』編集長等を歴任。



**春日井 敏之** (かすがい としゆき)

立命館大学大学院教職研究科/文学部教授。専門は臨床教育学、教育相談論。京都府の公立中学校勤務を経て、2001年度に立命館大学文学部に着任。文学部副学部長、教学部長、学長特別補佐等を歴任し、2017年度より教職研究科長。現在、日本学校教育相談学会、日本臨床教育学会、日本ピア・サポート学会等の役員、理事。学校現場におけるケース・カンファレンスも長年継続。

# 理論と実践の往還を目指して

## — 創設2年間の歩み —

**申込締切 2019年2月15日(金) 17:00**

本フォーラムはどなたでもご参加いただけます。参加費は無料です。参加ご希望の方は、次のいずれかの方法でお申し込みください。 ※当日参加もできますが、できるだけ事前にお申し込みください。

申込み先：立命館大学朱雀独立研究科事務室

**FAX 075-813-8271** メール [kyoken-s@st.ritsume.ac.jp](mailto:kyoken-s@st.ritsume.ac.jp)

Google フォーム

右記のQRコード Google フォームより必要事項をご入力ください。



メール

必要事項をご記入の上、上記メールアドレスまでお送りください。  
件名は「2018年度教育実践探究フォーラム 参加申込み」としてください。

FAX

必要事項を以下のフォームにご記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。

※複数名で参加いただく際は参加者全員のお名前と所属を記入のうえ、  
代表者の方のご連絡先（電話番号、メールアドレス）を記入してください。

【 情報交換会 】

参加費 4,500 円

※参加費はフォーラム会場受付にて  
申し受けます。

氏名	ふりがな	所属	情報交換会
TEL			参加 ・ 不参加
E-mail			
氏名	ふりがな	所属	情報交換会
TEL			参加 ・ 不参加
E-mail			
氏名	ふりがな	所属	情報交換会
TEL			参加 ・ 不参加
E-mail			